

2005年3月16日

藤野町長
倉田知昭様

1 万段階段について -再考のお願い-

NPO 法人神奈川県自然保護協会
理事長 新堀豊彦

春暖の候、益々ご健勝のことと拝察申し上げます。

生藤山付近に黒崎健時氏の提案される一万段の石段を作る事をめざし、その実現のために会社を招致するとの意思表示をされたと伺いました。この件について私どもは、自然保護の立場からも再考をお願い致したく存じます。

藤野町は奥多摩山稜を北に背負い、相模湖、石老山、石砂山を抱える県立自然公園の中心であり、この自然こそが町の財産と考えます。

20世紀の政策と科学技術の発達は、豊かさと便利さを享受させ、他方自然環境の荒廃と人心の荒廃を招きました。特に都会生活は人間性を喪失させ、自然回帰の要求を高めております。

6kmに及ぶ一万段の石の階段の造成は大きく自然を壊し、景観を改変します。そもそも、事業目的にうたう青少年の心身育成には大自然の活用こそ有効です。

一万段階段が心身鍛練に必要ななら、鉄とコンクリートで便利な街の中や埋め立て地でも実現可能です。建造物内のジムでの対応も可能です。豊かな自然を破壊して作るものではありません。既にそうした事業の破綻が20世紀の反省です。首都圏内にありながら、なお豊かな自然を抱える町の立地を有効に活用することに、更なる努力をお願いします。